

三峰山山行報告

【山行日】2017年12月17(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 8:00

【費 用】マイカー1台 : 500円

【メンバー】CL:鈴木、石川、田村、鶴見

【コースタイム】栃木市運動公園 P8:00=御嶽神社

P8:20/8:40~普寛堂9:10~奥ノ院10:00~剣ヶ

峰11:00~三峰山11:20/12:00~俱利伽羅不動尊

12:20~御嶽神社 P12:50/13:00~

=栃木市運動公園 P13:20



今日は日光白根山雪山トレーニングの計画だ

ったが、荒天の為中止になりお嬢達から「何処か山に登りたい」との要望があり三峰山に登ることにした。入会希望のT村さんが参加することになり、4名で登山口の御嶽山神社に向かう。手前のコンビニでトイレを済ませ、神社の駐車場に着くと「登山者は本堂の登山者名簿に記帳してから登ってく



ださい」と書いてあるので本堂を参拝する。

本日の安全祈願をしてから、登山者名簿に記帳し出発する。本殿から少し戻り、拝殿脇の石段を登り祖霊殿の右手のわき道を進む。

うす暗い杉林の中、沢沿いに進むと清滝があり不動尊が祀られている。さらに杉林の道を登ると普寛堂に着き、小休止して衣服調整をする。

ここからは少し明るくなり、急な石段を登るようになる。左側には無数の石祠が祀られており、信仰の山であることを強く感じさせられる。

石段が終わる辺りに弘法大師を祀った石祠があり、その先に阿留摩耶大神への分岐があるが直進する。左に巻きながら進むと視界が開け、雑木林の間から日光の山々を望むことが出来る。お嬢達もT村さんにいままでの登山経験や、どんな山が好きかなど聞きながら楽しそうに登って行く。

再び杉林の登山道を登るようになり、上部に尾根が見えてくる。尾根に出ると風が強くなると判断し、手前で休憩を取りリンゴや菓子でエネルギーを補給する。ここからひと登りで尾根に出て、道標に従って右に奥ノ院に向かって進む。

平らな登山道をほんの少し歩くと、三尊立像が祀られた奥ノ院へ着く。風はそれほど強くなく、木立の間から日光連山の眺望を楽しみ、一息いたら先ほどの分岐まで戻り「三山参道」の道標に従い直進する。なだらかな三峰山の主稜線の尾根を辿り、南に緩やかに下ると南東に向かう



尾根に進み、右側にトラロープが張られた道を歩くようになる。トラロープの先は吉沢石灰工業の採石場となっており、立ち入り禁止の標識があちこちに下がっている。さらに進むと剣ヶ峰に着き、山頂には石祠と山名がある。ロープを頼りに急坂を下り、八坂様入口の道標を見送り直進し、登り返



すと永野御嶽山の山頂に出る。ここから「三山参道」の下山道が下っているが、分岐を右に進み三峰山頂を目指す。杉林の急坂を下り俱利伽羅不動尊分岐を左に分け、うっそうとした杉林の道を登ると石祠と三角点がある三峰山山頂に着く。杉の木に三峰山山頂の札があり、杉木立や笹に囲まれ眺望は得られない。思ったより風が無く、山頂でランチタイムとする。今日の山ご飯は、人数が少ないので焼きそばにした。キャベツとモヤシをたっぷり入れた焼きそばに、T村さんも「美味しい」と喜んで

食べてくれた。デザートは梨を食べ、お茶を飲んだら記念写真を撮って下山する。

俱利伽羅不動尊分岐まで戻り、ここから右に急坂を下りて行く。少し下った所に俱利伽羅不動尊が祀られた岩窟に出て、ここからはさらに急降下の道になる。少し下ると浅間大神があり、ここは鹿沼市指定の文化財「浅間神社鍾乳洞」であるが、鉄格子の扉があり中には入れない。谷沿いの歩きにくい急降下を下り切ると林道に出て、道なりに進むと御嶽山神社の駐車場に着く。

県道に出てすぐの公園に寄り、トイレを済ませ栃木市運動公園Pに予定よりも早く帰着した。